

県内の小学校・中学校における組み立て体操の実施状況調査について

1 調査の目的

本県の小学校及び中学校、中等教育学校における組み立て体操の実施状況等に関する現状を把握し、今後の指導の基礎資料とする。

2 調査の対象及び内容

(1) 調査対象

県内の国公立小・中学校、中等教育学校（分校を除く）

〈対象学校内訳〉

公立小学校	306校		
群馬大学教育学部附属小学校	1校	計	307校

公立中学校	160校		
四ツ葉学園中等教育学校	1校		
中央中等教育学校	1校		
群馬大学教育学部附属中学校	1校	計	163校

※平成29年度

小学校：307校 中学校：163校

(2) 調査内容

- ①平成29年度の実施に関する調査
- ②平成30年度の実施予定に関する調査

3 調査の時期

平成30年6月

4 調査結果の概要

■運動会等で組み立て体操（表現運動の中で取り扱う場合も含む）を実施した（する）学校

	組み立て体操の実施校数（校）		総数に対する割合（％）	
	小学校	中学校	小学校	中学校
27年度	230	22	74.2	13.4
28年度	182 (-48)	16 (-6)	59.3 (-14.9)	9.8 (-3.6)
29年度	170 (-12)	16 (±0)	55.4 (-3.9)	9.8 (±0)
30年度(予定)	158 (-12)	15 (-1)	51.5 (-3.9)	9.2 (-0.6)

※（ ）内の数は、前年度との増減

組み立て体操を実施する学校は、小学校、中学校とも平成27年度、28年度、29年度、30年度（予定）と減少している。

(1)－①タワーの実施校数

	タワーの実施校数 (校)		総数に対する割合 (%)	
	小学校	中学校	小学校	中学校
27年度	182	19	58.7	11.6
28年度	100 (-82)	14 (-5)	32.6 (-26.1)	8.6 (-3.0)
29年度	63 (-37)	11 (-3)	20.5 (-12.1)	6.7 (-1.9)
30年度(予定)	57 (-6)	10 (-1)	18.6 (-1.9)	6.1 (-0.6)

※ () 内の数は、前年度との増減

タワーを実施する学校は、小学校、中学校とも平成27年度、28年度、29年度、30年度(予定)と減少している。

(1)－②タワーの実施校の学年、段数

【小学校・学年(校)】

	5年	6年	3,4,5,6年	4,5,6年	5,6年	未定
27年度	11	59	—	16	96	—
28年度	3	38	1	7	51	—
29年度	—	23	—	3	37	—
30年度(予定)	1	13	—	2	41	—

【小学校・段数(校)】

	1段	2段	3段	4段	5段	6段
27年度	—	19	133	30	—	—
28年度	1	29	64	6	—	—
29年度	—	35	26	2	—	—
30年度(予定)	—	32	23	2	—	—

【中学校・学年(校)】

	2年	3年	1,2,3年	2,3年
27年度	2	11	4	2
28年度	1	8	3	2
29年度	—	6	3	2
30年度(予定)	—	5	3	2

【中学校・段数（校）】

	2 段	3 段	4 段
27年度	2	11	6
28年度	3	5	6
29年度	2	5	4
30年度(預)	3	4	3

小学校においては、平成27年度、28年度、29年度と段数は低下傾向が見られる。また、平成30年度においてタワーを実施する予定の学校の学年や段数は、小学校、中学校とも29年度と同様の傾向が見られる。

(2)－①ピラミッドの実施校数

	ピラミッドの実施校数（校）		総数に対する割合（％）	
	小学校	中学校	小学校	中学校
27年度	154	9	49.7	5.5
28年度	106 (-48)	9 (±0)	34.5 (-15.2)	5.5 (±0)
29年度	89 (-17)	8 (-1)	29.0 (-5.5)	4.9 (-0.6)
30年度(預)	93 (+4)	8 (±0)	30.3 (+1.3)	4.9 (±0)

※（ ）内の数は、前年度との増減

ピラミッドを実施する学校は、小学校、中学校とも平成27年度、28年度、29年度と減少している。

(2)－②ピラミッドの実施校の学年、段数

【小学校・学年（校）】

	5年	6年	3,4年	3,4,5年	4,5年	4,5,6年	5,6年	未定
27年度	17	27	—	—	1	11	98	—
28年度	6	26	1	—	—	10	63	—
29年度	5	22	2	1	—	9	50	—
30年度(預)	6	17	1	1	—	9	59	—

【小学校・段数（校）】

	1段	2段	3段	4段	5段	6段	7段	8段	その他	未定・検討
27年度	1	7	75	34	15	13	7	1	1 (見た目3段、実質2段)	—
28年度	—	15	64	17	6	3	1	—	—	—
29年度	—	9	69	7	3	1	—	—	—	—
30年度(予定)	—	9	75	6	2	1	—	—	—	—

【中学校・学年（校）】

	2年	3年	1,2,3年	2, 3年
27年度	—	1	5	3
28年度	1	1	5	2
29年度	1	1	4	2
30年度(予定)	1	1	4	2

【中学校・段数（校）】

	3段	4段	5段	6段	7段	8段
27年度	3	2	2	1	—	1
28年度	2	3	2	—	2	—
29年度	4	3	—	1	—	—
30年度(予定)	4	3	—	1	—	—

小学校においては、平成27年度、28年度、29年度と段数は低下傾向が見られる。また、平成30年度においてピラミッドを実施する予定の学校の学年や段数は、29年度と比較すると、5、6年で実施する予定の学校が増加している。中学校は学年、段数とも29年度と同様の傾向が見られる。

(3)－①ピラミッドやタワーの組合せの実施校数

	ピラミッドやタワーなどの組合せの実施校数（校）		総数に対する割合（％）	
	小学校	中学校	小学校	中学校
27年度	27	1	8.7	0.6
28年度	13 (-14)	1 (±0)	4.2 (-4.5)	0.6 (±0)
29年度	52 (+39)	4 (+3)	16.9(+12.7)	2.5 (+1.9)
30年度(予定)	52 (±0)	4 (±0)	16.9 (±0)	2.5 (±0)

※（ ）内の数は、前年度との増減

ピラミッドやタワーを組み合わせる学校は、小学校、中学校ともに29年度は28年度と比較すると増加している。

(3)－②ピラミッドやタワーの組合せ実施校の学年、段数

【小学校・学年（校）】

	5年	6年	4,5,6年	5,6年	検討中
27年度	2	10	—	15	—
28年度	—	7	1	5	—
29年度	2	19	3	28	—
30年度(予定)	2	18	3	29	—

【小学校・段数（校）】

	1段+1段	1段+2段	1段+3段	2段+1段	2段+2段	2段+3段	3段+1段	3段+2段	4段+1段	4段+2段
27年度	—	2	4	3	9	3	—	1	3	1
28年度	—	3	—	4	2	—	3	1	—	—
29年度	7	7	3	24	7	—	—	—	4	—
30年度(予定)	5	7	2	24	11	—	—	—	3	—

【中学校・学年（校）】

	1,2,3年	3年
27年度	1	—
28年度	—	1
29年度	1	3
30年度(予定)	1	3

【中学校・段数（校）】

	3段	1段+1段	2段+1段	2段+2段
27年度	1	—	—	—
28年度	1	—	—	—
29年度	1	1	1	1
30年度(予定)	1	1	1	1

小学校では、6年や56年で実施した学校が増え、2段+2段以下の組み合わせが増加した。また、平成30年度においてタワーやピラミッドを組み合わせる学校の学年や段数は、29年度と比較すると、小学校・中学校ともに同様の傾向が見られる。

■組み立て体操を実施するにあたり配慮したこと（複数回答可）

【小学校】

安全上配慮したこと	27年度			28年度			29年度		
	校数 (校)	総数に対する 割合(%)	実施校に対する 割合(%)	校数 (校)	総数に対する 割合(%)	実施校に対する 割合(%)	校数 (校)	総数に対する 割合(%)	実施校に対する 割合(%)
○内容は教科等との関連、行事の学習効果、安全性、児童生徒の興味・関心を考慮して決定した	196	63.2	85.2	154	50.2	84.6	156	50.8	91.8
○練習から当日まで、事故防止のポイントや危機回避能力を身に付けさせる指導を実施した	214	69.0	93.0	166	54.1	91.2	164	53.4	96.5
○児童生徒の技能や体力の実態と競技・演技内容の適合性を確認して実施した	220	71.0	95.7	176	57.3	96.7	165	53.7	97.1
○練習から本番まであらゆる機会を捉えて計画的に安全指導を行い実施した	205	66.1	89.1	163	53.1	89.6	158	51.5	92.9
○基本練習から徐々に難しい演技や動きにつなげていけるように体系的な指導を実施した	204	65.8	88.7	161	52.4	88.5	160	52.1	94.1
○その他	33	10.6	14.3	16	5.2	8.8	12	3.9	7.1

【中学校】

安全上配慮したこと	27年度			28年度			29年度		
	校数 (校)	総数に対する 割合(%)	実施校に対する 割合(%)	校数 (校)	総数に対する 割合(%)	実施校に対する 割合(%)	校数 (校)	総数に対する 割合(%)	実施校に対する 割合(%)
○内容は教科等との関連、行事の学習効果、安全性、児童生徒の興味・関心を考慮して決定した	19	11.6	86.4	14	8.6	87.5	14	8.6	87.5
○練習から当日まで、事故防止のポイントや危機回避能力を身に付けさせる指導を実施した	18	11.0	81.8	16	9.8	100.0	16	9.8	100.0
○児童生徒の技能や体力の実態と競技・演技内容の適合性を確認して実施した	20	12.2	90.9	16	9.8	100.0	16	9.8	100.0
○練習から本番まであらゆる機会を捉えて計画的に安全指導を行い実施した	19	11.6	86.4	13	8.0	81.3	14	8.6	87.5
○基本練習から徐々に難しい演技や動きにつなげていけるように体系的な指導を実施した	13	7.9	59.1	13	8.0	81.3	14	8.6	87.5
○その他	1	0.6	4.5	3	1.8	18.8	2	1.2	12.5

平成29年度は、小学校、中学校とも、「練習から当日まで、事故防止のポイントや危機回避能力を身に付けさせる指導を実施した」「児童生徒の技能や体力の実態と競技・演技内容の適合性を確認して実施した」学校が多く、中学校は全ての学校で配慮して実施した。

■平成29年度に組み立て体操を実施したなかでのけがや事故の状況

【小学校】 7件（骨折3、打撲2、捻挫2）

※全治1ヶ月以上のけが 5件

※27年度は15件（骨折9、捻挫3、挫傷1、打身1、背中痛1）

※28年度は 5件（骨折5）

【中学校】 0件

※27年度は 1件（骨折1）

※28年度は 1件（捻挫1）

小学校では、練習時のけがであり、全治1ヶ月以上のけがは5件であった。平成28年度と比較して件数は増加したが、重傷（骨折）のけがは減少した。また、中学校では、けがの報告はなかった。

■資料「体育的行事の実施に当たって」（平成28年3月、群馬県教育委員会作成）の活用について（複数回答可）

【小学校】

活用内容	28年度		29年度		30年度	
	校数(校)	総数に対する割合(%)	校数(校)	総数に対する割合(%)	校数(校)	総数に対する割合(%)
○管理職が職員会議等において説明し内容を確認した	34	11.0	68	22.1	58	18.9
○体育主任が職員会議等において説明し内容を確認した	67	21.6	108	35.2	118	38.4
○増し刷りして全職員に配付した	103	33.2	122	39.7	125	40.7
○校内の見やすいところに掲示した	137	44.2	152	49.5	153	49.8
○各学年に配付した	38	12.3	44	14.3	44	14.3
○体育部に配付した	77	24.8	72	23.5	75	24.4
○見たが活用していない	22	7.1	10	3.3	14	4.6
○今後、活用する予定	112	36.1	81	26.4	76	24.8

【中学校】

活用内容	28年度		29年度		30年度	
	校数(校)	総数に対する割合(%)	校数(校)	総数に対する割合(%)	校数(校)	総数に対する割合(%)
○管理職が職員会議等において説明し内容を確認した	16	9.8	26	16.0	22	13.5
○体育主任が職員会議等において説明し内容を確認した	26	15.9	36	22.1	36	22.1
○増し刷りして全職員に配付した	16	9.8	33	20.2	43	26.9
○校内の見やすいところに掲示した	52	31.7	54	33.1	51	31.3
○各学年に配付した	12	7.3	11	6.7	6	3.7
○体育部に配付した	95	57.9	89	54.6	90	55.2
○見たが活用していない	11	6.7	11	6.7	15	9.2
○今後、活用する予定	60	36.6	44	27.0	44	27.0

小学校では、「校内の見やすいところに掲示した」が最も多かった。中学校では、「体育部に配付した」が最も多かった。

「管理職や体育主任が職員会議等において説明し内容を確認した」学校は、小学校では29年度と同様であったが、中学校では減少した。

5 分析

- 体育活動中の事故防止については、これまでも注意喚起をしてきている。各学校では危険回避や事故防止について検討され、組み立て体操を実施する学校は減少してきていると考えられる。
- 組み立て体操を実施する学校の減少に伴い、タワーやピラミッドを実施する学校も減少しているが、ピラミッドやタワーを組合せて実施する学校は増加した。各学校において、高さだけを求めるのではなく全体がそろそろ美しさにも目も向けるなどの点に留意するなど、安全面に配慮した上で、児童生徒の実態に応じて表現の仕方を工夫改善した結果、タワーやピラミッドを組合せて実施する学校が増えたと考えられる。
- 各学校において様々な安全の配慮をして実施してきているが、小学校では、けがの件数が28年度に比べ増加している状況にある。「児童生徒の技能や体力の実態と競技・演技内容の適合性を確認して実施した」小学校は97.1%であるが、児童の技能や体力の実態と演技内容の適合性については、今まで以上に慎重に検討していく必要がある。
- 県が作成した資料「体育的行事の実施に当たって」（平成28年3月）の各学校での活用状況は昨年度並みである。資料の配布を始めてから3年が経ち、各学校の教職員に浸透してきていると考えられる。しかし、管理職が職員会議等において説明し内容を確認した学校数は、平成30年度は平成29年度より減少しているため、管理職が率先して安全対策を講じていく必要がある。

6 今後の取組

県教育委員会として、各市町村教育委員会に調査結果を送付するとともに、改めて事故防止について注意喚起をする。また、管理職が職員会議等において安全確保について指導し、全職員共通理解のもと、万全の注意を払い、活動内容に応じた安全対策を確実に講じるなどの措置を講じるよう市町村教育委員会に依頼する。